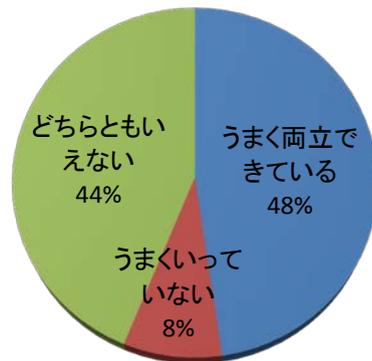
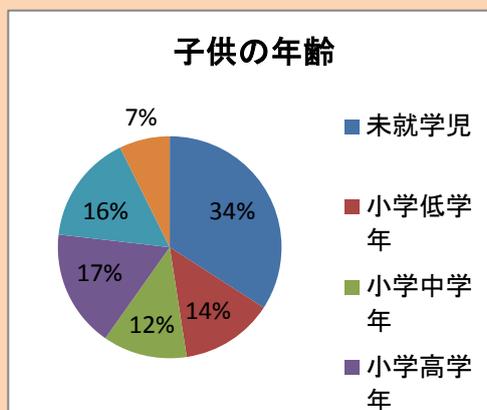
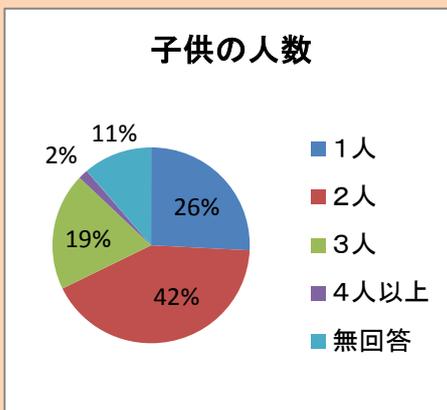
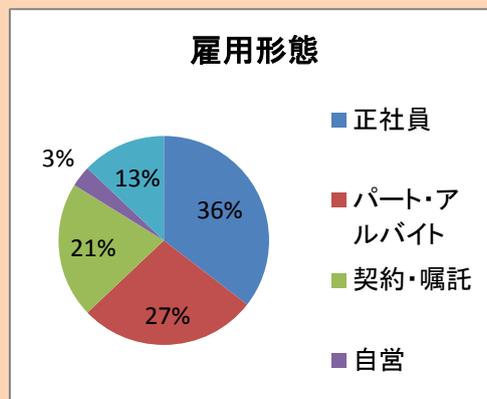
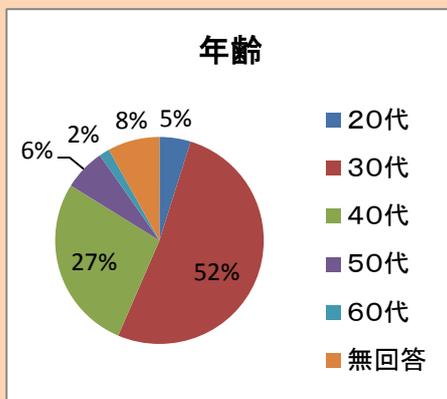


Q1 あなたは子育てと仕事の両立がうまくいっていますか？

回答総数 130名 ○ 62名 × 11名 △ 57名



うまく両立できている



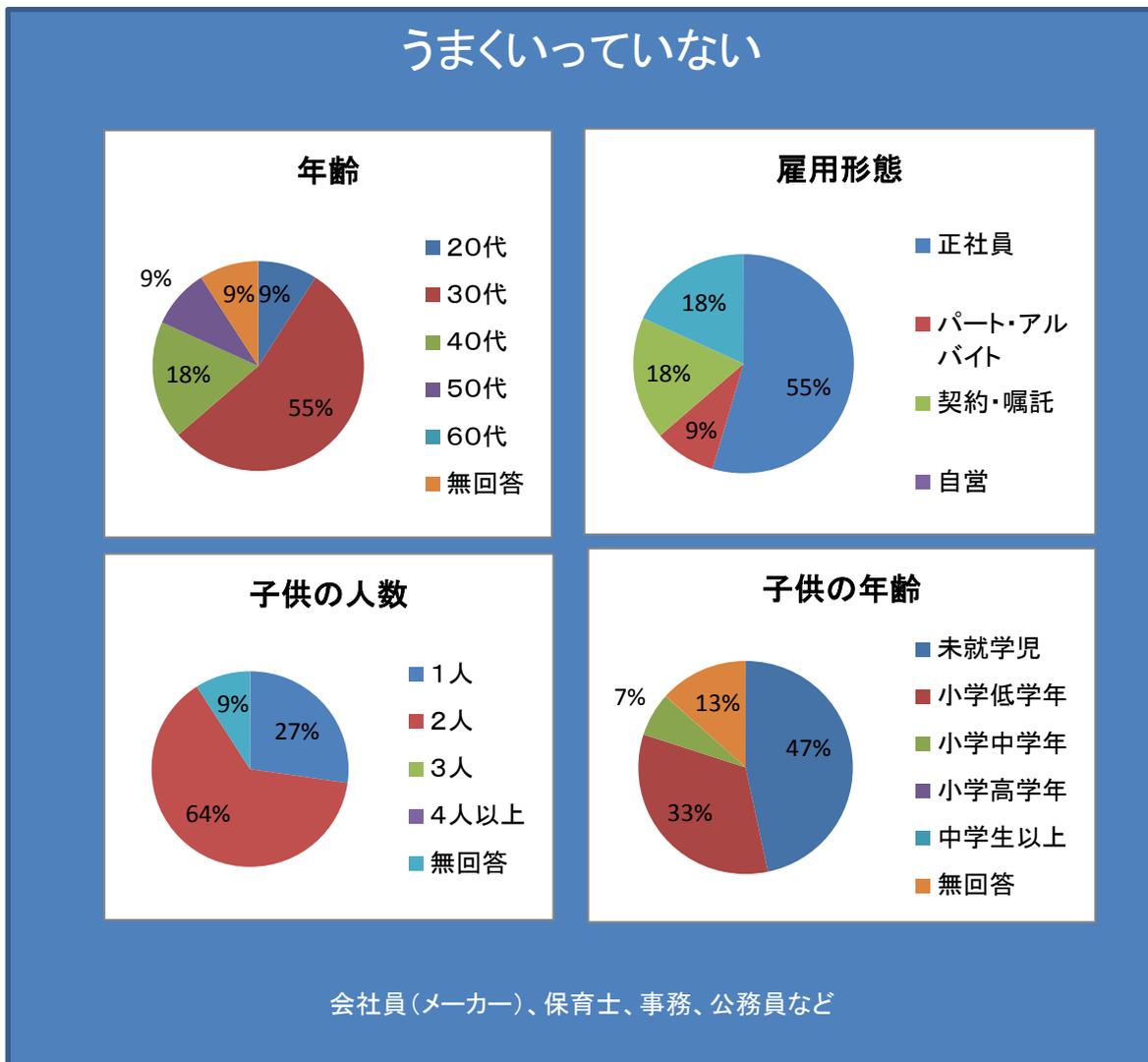
事務、保育士、公務員、会社員、ブライダル業、NPO法人代表、病院(治験補助)、看護師、営業など

Q2 なぜそう思うのか(両立できている)

- 以前つとめで働いていた時は朝も早く、夜も遅く、祖父母にたよりっきりだったが、今は自営なので子育ての時間もきちんととれるようになり、自分自身にもゆとりが出てきたので、両立できるようになったと感じています。もちろん同居している祖父母の手助けもあるからだと思います。
- 主人の協力もあり、頑張っています。
- 職場の理解、支援があり、子供が病気の時など都合が付きやすい。
- 職場の理解があり、子供が病気等による早退、遅刻、欠勤、柔軟に対応してもらっている。

- 毎日何だかんだ楽しく過ごせています。親の協力もあります。
- 両親の協力や職場の理解が良く、子供の病院など急な欠勤にも理解がある。
- 助けが必要なときは主人や両親、姉妹に助けてもらってるから。
- 子供が自立してきたから。
- 受験のサポートや職場の理解のもと、両立できていると思う。
- 時々、時間に追われることもあるが、それが毎日というわけではないので時間があるときはゆったりと関わる時間を作っている。
- 祖父母や周囲の方の協力があるため。
- 出来るだけ一緒にいる時間を大切にしているつもりです。子どもが満足しているか不安なこともあります。笑顔に支えられて毎日頑張っています。
- 仕事をしていることによってメリハリがつく。子どもも保育園で頑張っていると思うと自分も頑張れる。
- 仕事が子供の用事に合わせて何とか都合できる。
- 家族の協力が得られているから。
- 短時間勤務であるし、家族の理解があるため。
- 家族、職場の理解があるため。
- 夫、両親などまわりの協力・支援があり、仕事も子育てもできているから。
- 夫や家族の協力があるから。
- 職場の方々の理解や協力がある。家庭でも家族(夫・祖父母)の協力がある。
- 両親に子供の面倒を見てもらっているの、仕事中は何も心配なく集中できます。(親の協力なくして仕事はできないと思います)
- 子供が仕事に理解があり、子育てを祖父母が手伝ってくれています。
- 子供と一緒に過ごせる時間は育児優先です。学校に行ってる間は仕事優先で、勤務時間内に仕事を終えるようにしています。職場より学校、自宅、実家が近い為、昼休みを利用して、家事をしたり用事を済ませ、有給を使い子供の行事に参加したり、時間を友好的に使い育児と仕事の両立をしています。私が動けない場合は、実家の両親に協力してもらってます。
- 他に、同じ学校で母子家庭の方とのやりとりもあり、お互い協力しあってます。
- 会社勤めの時は時間的拘束もあり、両立が難しく感じていたこともありましたが、現在は自営のため融通をきかせながら(子供の行事、下校時間、習い事の送迎など)できています。
- 子供の大きくなったことにより関わり方が変化したため子育ての配分が減ったため。地元に戻ったので、両親の手助けが出張の時に得られるようになった。必要に応じ、アウトソーシングを利用しているため時間ができた(家事の一部など)。
- 保育園(園も紹介などがあり、通常難しい生後4か月から預けられたのも大きい)の協力、会社の協力など周囲の協力がある。仕事をあえて自由のきく状態(パート&自営)にしている。子ども自身が健康(病気をあまりしない)。偶然が重なっている部分もあるので、少しバランスが崩れると、途端に両立できなくなるようにも思う。
- 子供がある程度成長し、手がかからなくなったから。
- 幸い、ありがたいことに実家、夫の両親に子供を預かってもらえる環境があり、安心して仕事にうちこめる。
- 時間が9時~15時と家事に負担にならない為。女性が多く、子育てしながらの方が多いので急な休みにも対応してもらえるため。
- 職場の理解と家族、実家の協力があるので。
- 子供も自分のことができるようになり、手がかからなくなった。
- 仕事が定時に終わるから。保育園に安心して預けられるから。同居の義父母の協力があるから。両立しているという気持ちでいるから。
- 充実しているから。
- 何も苦にならないから。(両立)できただけだと思うから。
- 両親(祖父母)のサポートがあるから。
- 夫と結婚前に話し合った。
- 子供が大きくなってきて手があまりかからなくなってきた。家事の分担。パート勤務で時間が短い。職場が子育てに理解があり、子供の病気や行事などで融通がきく。
- 仕事の時間も短いため、朝夕の子供と過ごす時間が取れること。子供の体調不良の場合にきちんと休みを頂ける職場だから。
- 家族や周りの人たちの協力。職場の理解。
- 短時間パートタイムだから。
- 家族(夫)の協力や理解(家事の分担や子供の世話など)。職場の理解や支援(子供が病気の時の急な休みの配慮など)。
- 短い時間のパートタイムで学童、部活の迎えも可能。職場に恵まれ、学校行事も休める。ほとんど子供が病気もしない、休まない。
- 夫と結婚前にしっかり話し合った。

- 夫の協力がある。
- 親の協力があるから。
- 毎日楽しいので。
- 大変だけど、問題なく生活が送れている。家族が協力してくれる。職場の理解がある。
- 職場が大変理解のある会社なので助かっています。もっともっとこういう企業が増えることで社会全体が子育てとの両立がしやすい環境になると思います！
- 子供たちも協力的で家事も分担しているから。
- 高校生になり親の手があまりかからないようになっている。
- 就業時間が決まっており、家事、子供との関わりの時間が持てる。休日が決まってある。
- 時間がある。土・日・休みである。
- 家族の協力があり、子供が病気になった時には実家に協力してもらえる。
- 平日は子供たちが学校に行っている間の勤務であるため。土曜勤務の場合は主人や実家の両親に協力してもらってます。
- 子供が中学生になり、自分のことは自分でやってくれるようになり仕事がしやすくなった。時間的に余裕がある。
- 今は子どもたちを保育園にあずけていて近くに実家もあるので。去年までは小さい子どもふたりが家にいたので両立は大変だった
- そう思わないとやっていけないから。

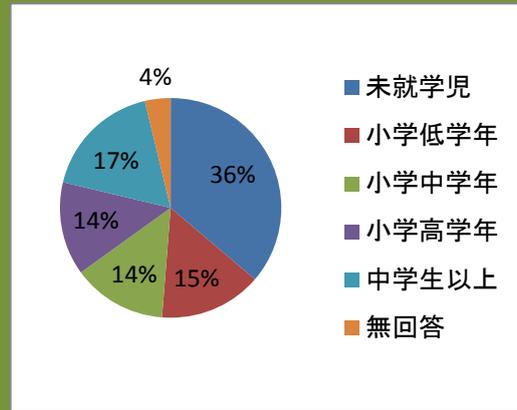
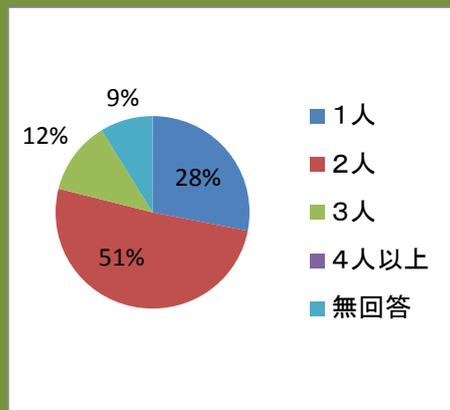
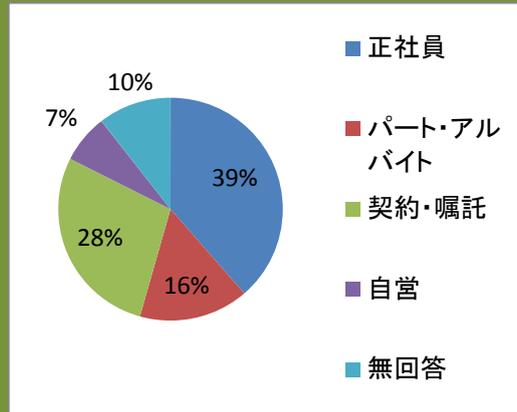
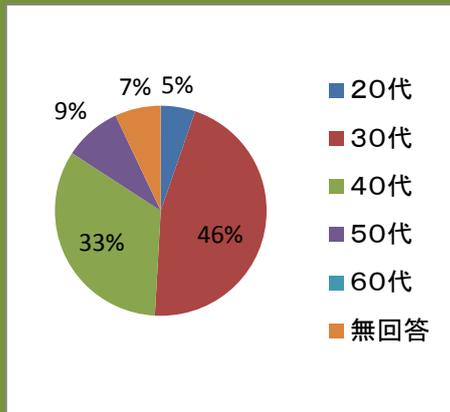


Q2 なぜそう思うのか(うまくいっていない)

- 仕事優先してきたように感じる。
- 子供がいても仕事量が減ることはない。残業を極力抑える為早めの出勤や昼休み返上をするか、定時で帰宅というわけにもいかないの家庭への時間が限られてしまう。
- 身体の疲労がとれず、家事に気持ちが向かない。”休み”がうまくとれない。
- 毎日叱ってばかり。

- 急な残業などに全く対応できない。子供の行事に参加することが難しい。
- 時間の割り振り。正社員だと夕方帰れない。ご飯を食べさせてお風呂に入れるのも実家に頼りっぱなし。周りの人が残って仕事しているのに帰れない。十分に子育てできない。
- 過去のことですが、うまくいかず大変でした。
- 子育てのため退職するしかなかった。
- 仕事に不満はないが子供に負担をかけていると思う。心の病気っぽい。周りに子育ての手助けを(協力)してくれる人がいない(祖父母など)。
- 手を抜いている部分がある
- 職場で部分休業を取っているが、理解はしてもらっているものの、責任ある仕事を任されておらず大変心苦しく感じており、家庭では、朝早くから夕方まで子供を保育園に預けている為、子供との時間も短く、その中でなるべく遊んであげたりしていると疲れがたまり、体調を壊すことが多々ある為。

どちらともいえない



入浴ヘルパー、保育士、会社員、公務員、事務員、自宅でピアノ講師、交通安全教育専門店、嘱託職員、団体職員、会社役員、スポーツインストラクター、スタジオ運営など

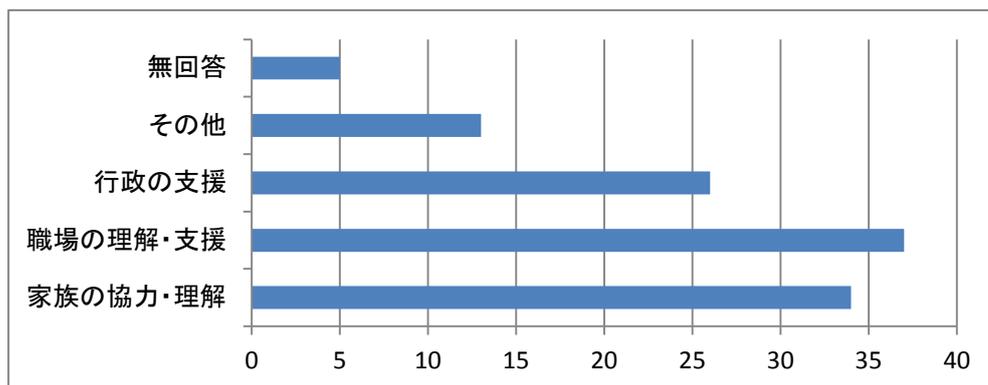
Q2 なぜそう思うのか(どちらともいえない)

- 出産する前はバリバリ働いていましたが、出産後はできる範囲で仕事をさせてもらっています。今の環境には本当に感謝していますが、本音は前のようにもっと働きたいです。
- 子供の勉強を見てあげようと思っても疲れでなかなか見てあげられない。
- 仕事の都合で主人の協力がなくて1人でバタバタとした毎日を送り、家事・育児など1人で行っている状態なので。
- 睡眠が十分にとれず体力的にきつい。土日休みたいが子供の行事等で休めない。自分自身がイライラ不安定になることがある。
- 子育てを実家の両親にお願いしていて負担をかけているから。仕事が忙しくなかなか子供のことをできていない。
- 仕事をする前に比べて家事がおろそかになった。子どもに我慢や寂しい思いをさせている所がある。
- 色々周囲の協力を得てはいるが、1日中バタバタしている感があり、特に主人の帰りが遅い日などは全体的に遅くなる。まだ、この病気時などが急に発生するので焦る。(頼る相手が1人しかいない)

- 子供の世話を自分が思っている範囲のことができていないから。
- 現在は子ども(1歳)が1人だし、夫の協力、職場の理解があるのでできていると思うが、2人目3人目を考えると…両立できるか不安です。あと、夫が自営で昼間働けるのが大きいかも…
- 時間の配分のバランスはかなり仕事に傾いていて、なかなか家族との時間や自分の時間が取れない現状はある。しかしこの現状を家族は受け入れてくれているのでバランスは悪いが両立できている分類に入るかもしれない。ただ、子供たちの心情を考えると我慢させている所も多いと思うので…
- 主人が単身赴任の為、仕事から帰り、保育園のお迎え、夕食の準備、風呂入れと毎日バタバタで時間に追われ、子供とゆっくりお話しする時間がなく、寂しい思いをさせているような気がします。残業とかになる日は両親に協力してもらっています。
- 親自身はうまくいっていると思っても子供の受け止め方が違い、不満があるかもしれない。
- いま、休業中なので復帰後はわからない。
- 引っ越したばかりで、思うように働けていないので。
- うまくいっている時もあり、うまくいかなこともあり、区別する事は難しいと思います。その時期その時期で子どもの成長の変化もあるのでうまくいけるように頑張っています。
- 仕事をしたあとに家事をしたりバタバタで子供とうまく会話できない時もあるし、スムーズに行くときもあるので。
- 仕事の比重が高く、家事や子育てはかなり手抜き。特に学校行事への参加や親が提出すべきものができていないことが多い。
- 毎日余裕がない状態で、仕事も子育ても中途半端な気がします。
- 時間に追われて、とてもきつい。子供が熱を出すと色々うまくいかない。
- 仕事と家庭(子育て)、もっと上手に切り替えをしてどちらも満足できるようにがんばらなければ！と思うからです。
- もう少し子供とゆっくりと向き合う時間がほしい。
- 忙しく毎日がすぎてしまい、子供にゆっくり向き合えていないと思う時があります。
- 家族や身近な人の協力無しには両立できないと感じています。
- おじいちゃん、おばあちゃんに手伝ってもらうこともあるので。
- 仕事が忙しい時等、子供の話をゆっくり聞いてあげることができないから。
- 周りに負担をかけているため。
- 仕事中心になっている時もあり、子供に負担をかけていることもあると感じているから。
- 日常は安定しているが、母子家庭の為、病気をした時、困る。
- 子どもがいつも二の次。やっと生きてる。
- 仕事を始めて間がないから。
- 仕事から帰る時間が遅く、自分が思うように時間が取れないから。
- 特に問題はないが、もう少し子供に目を向ける時間をとらなくてはいいいと思っているので。
- 仕事の量が多いので、家事は家族からぎりぎり文句の出ない程度にとどめていますが、そうすると、自分が罪悪感で精神的に落ち込みます。家事へのエネルギー配分がどのくらいだと自分の精神が安定するかは線がいつまでたってもつかめず。なかなか難しいです。
- 時と場合で色々なことが起こる。
- 子どもと接する時間を少なく感じる。なんとか両立している。
- すべてうまくいっているわけではないから。病気の時は預けられる所がない。
- 専業主婦希望。
- 祖父母も遠くにいる、子供が病気をした時等、父親はなかなか休めず、私が仕事を休まなければいけないことが多いので。
- 家事が手抜きになったり、疲れが取れなかつたりするので。
- 子供の体調不良等急に仕事を休まなくてはならない場合があるため。日常的に仕事+家事+育児で忙しく全くゆとりがない。就労の有無に関わらず学校や幼稚園、地域の係の仕事がきて負担が重い。
- 家の中をうまくまわすために平均的に家事をこなすようにしていますが子供に満足させているか十分接しているのか考えるとどちらともいえない。
- 学校行事への参加や帰宅後の子供の世話等時間的なゆとりはあるが仕事をしていることでの疲れもあり、宿題や提出物までの確認等できないこともある。
- 子供が成長していけば何らかの問題も出てくる。その都度考えていかなければならないから。
- 仕事から帰って寝かしつけまでの時間、バタバタしてしまい、ゆっくりふれ合う時間が毎日持っているわけではない。時々、子どもに可愛いそうなおいをさせているのでは？と不安になる。
- 日々、仕事に追われているので、寝かしつけるまで一息もできないので…。女性が仕事しながら子育てするって大変だと実感しています。
- うまくいっていることもあれば、そうでないこともあるから。
- 家事がおろそかになったりすることも多いので。子供の行事に参加できないこともある。
- 私としては基本的にうまくいっていると思いますが、子供たちがどう思っているか…。自営なので家でも仕事をしていることが多く、本当はもっと子ども達に関わりたいたいと思っています。

- 子どもの気持ち、夫の気持ちがわからないから。子育ての結果は今わからない。
- 子どもと過ごす時間、子どもと向き合う時間が少ない。家事も手抜きが多い。
- 子育て中で仕方ないのだと思うのですが、日々こなすことに追われ、キャリアアップの為の時間を
つくれずにきました。子どもが小学生に上がり一段落し、ようやく国家資格取得への準備を視野に入れる
ことができつつあります。男性(父親)だと、ここまで後回しにならないと思われるので。
- 毎日が大変。時間がない。余裕がない。病気の時等。

Q3 Q1で「うまくいっていない」「どちらともいえない」と回答した方は、
 どんなこと(支援・サポート)があれば「うまく両立ができる」と思いますか？



<家族の協力や理解>…具体例

- お互いに相手のことを理解し合うこと。
- 夫や同居している人の協力
- 主人だった人がまったく協力がなかったので1人で何でもしていました。
- 夫、祖父母、親戚の協力。
- 主人の認識の変化(手伝う→自分で考えて動く)
- 近隣に身内がいるとよいか。
- もちろん(必要)
- 両親からの手伝い支援。
- 旦那の協力。
- 休日出勤及び夜間勤務において家族や両親の手助けがあるので、仕事ができます。
- 誰がこれはするべきという事ではなく今出来る人がするという考えになってほしい。
- 協力している時は家庭のことが出来ない。
- 上の子が面倒見てくれると助かります。
- 子供の送迎、病気時等の看病。
- ほとんど期待していませんが…。
- 自分自身の時間の取り方。
- 自分の事をもう少ししてくれればと思います。
- 家事や育児をもう少し夫が負担すればもう少し気持ちが違うと思う。
- 子供の病気等の際、近くに子供を預けられる家族がいてくれるといいなあと思います。
- 主人の育児への参加が増える事(仕事が忙しいので…)。
- 父親の育児時間の取得。
- 子ども達にもう少し手伝ってほしい。
- 家事の分担、協力。
- 子育ては皆でするものという意識。
- 自分の事、家事の協力。

<職場の理解や支援>…具体例

- 職場の雰囲気が良いこと。
- 時短勤務の取りやすさ(制度があっても現実的に難しい)
- 時短制度。強制的に！努力義務ではムリ。給料減らしてでも。
- 休んだらクビでした。
- 時短、働き方の選択(夫、男性も)
- 短時間でもやりがいのある仕事を。人事配置の工夫。
- 年給は殆ど子ども関係でとっているが行事が多くなるとなかなかとりづらい。
- 色々支援いただいて助かっている。急な休みなど迷惑がかかるので逆にこちらが気になります。
- 就業時間の調節などができたらと思う。
- 時間管理システムから成果管理システムへ。
- 託児所を作ってほしい。
- 転勤族にも理解を。
- どうしても急なお休みや早退が出てしまうため。
- 当然(必要)
- 急な休みの対応

- フレックスタイムの導入。
- 緊急時の対応は社会の問題としてとらえる頂くともっと理解してもらえenと思います。
- 子どもが病気時に休みを取れる環境。
- 有給が使いやすければ…。
- 学校行事の時の休みのサポート等。
- 子どもの行事、病気の時は優先してほしい。
- 子どもが病気になると休みづらい。
- 有給がとりやすい等。
- 定時退社(残業なし)、急な子供の病気の時でも休みが取得しやすい環境。
- 短時間勤務やワークシェアリングへの理解と推進。(父親も)
- 時間への配慮。休みやすい雰囲気。

<行政の支援>…具体例

- 今とちがい、サポートもなく、親も仕事をしていたので。
- 待機児童の早期解消。
- 公民館の開放や学童保育の時間延長や無料化など。
- 病時、病後児の預かり先、託児の拡充やシッターなど。
- 保育園の待機児童の数を減らしてほしい。
- 病児保育の増加。近場がない。当日の朝いきなりはなかなか難しい。
- 育休後の保育園継続がもう少し柔軟になれば…。
- 母子家庭は塾に通わせることができないので塾に通わなくても受験できるように学校の教育(勉強)に力を入れてほしい。先生方は塾任せなどところがある！
- 子どものお預かりの時間帯。土・日・祝の預かり。待機の問題など。
- ？よく分からない。行政支援が中小や零細企業に反映されるか疑問。
- 休日保育の充実、急な病気の時、学校などで一時預かってくれるシステムがあれば助かります。
- 母子家庭への金銭的な支援を見直してほしい。フルで働く人は支援してもらえない。
- 子どもが小学生になる頃まで時間短縮のサポートなど。
- 企業へのサポート。

<その他>…具体例

- 家族は協力してくれています。自分の問題でしょう。
- 児童手当などを廃止して保育料や給食費などに全部あてる(保育料の無償化など)。その結果お手伝いさんなどが雇える。
- 仕事と子育てのバランスは子どもの成長と共に変わる。今の段階で両立できていない原因解決に必要なのは、他からの支援やサポートではない。自分自身の問題。
- 学校行事など、平日に振替休日が入るとひとりでお留守番などになり、小学生はまだ心配な所がある。
- 自分自身の意識改革も必要だと思う。子育て中だから会社に迷惑をかけてはいけないという過剰な思い込みから抜け出す。
- 細やかな支援、心のケアが必要。
- 幼稚園が休みの時など一時的に子どもを安心して預けたり、気軽にすぐお願いできるようなサポートがあるとよいです。
- 気軽に利用できる家事サービス。男子の家事教育方法。
- 子どもの気持ちを大切にす。
- 景気回復。
- 私の時間の使い方、考え方の問題だと思います。
- 夫からの感謝の言葉やねぎらいの言葉もたまにいいので欲しいです。そうすればもう少しだけ頑張れる…ような気が…
- 現金支給ではなく物的支給を増やす。(雇用も生まれるので)

Q4 Q3以外で、もっと子育てと仕事の両立がしやすくなると思うアイデアや夢のプランがあれば教えてください。

＜両立できている方の案＞

- 就学前までは希望によって短縮勤務が誰でもとれるようになると思います。
- また、3歳までの育児休暇も希望によってとれやすくなると思います。
- 病児保育の充実(施設の増設・手続きの簡素化)。病後ではなく、病中でも預かってもらえる施設があるといい。(医療機関との連携が不可欠である)一事業に一保育所。
- 病児保育をもっと活用しやすいシステムにしてほしいです。ヘルパーさんもなかなかマイナーなままです。
- 職場に子育てに対する理解や母親の地位の確立など。
- 子供が病気をしたりするとどうしても仕事が難しくなり、子供のことも心配になるので毎日の「視診」の徹底!!
- 栄養バランスのとれた献立表の無料配布。野菜料理のレシピなど、子供と一緒に料理できるようなものの資料配布。
- 病後児保育を頼めるサービスがもっと増えればいいなと思います。
- 自宅で就労できる環境づくり、子育てママ同士が支え合う仕組み、男性の育児家事参加を推進する社会全体の施策が必要かと思えます。
- 企業等への学習会、個人々人への啓発、本人の意識の変化(支え合いやお互い様という考え方の啓発、しっかりとしたキャリアプランを個人々人で描いてみることやライフキャリアレインボーなどへの理解)
- 母親自身が「許されるべき」という意識を持たないようにしたい。子育てはすべての免罪符には決してならないし、仕事は仕事、としてシビアにとらえる姿勢が必要だと思う。「子育てしているからサポートされて当たり前」という考えの方が1人いると、子育て中の母親全体に対する社会の目が冷たくなる可能性もある。母親が〇〇したい、〇〇してほしい、というだけではなく、「〇〇まではきちんと責任を負うので、その分〇〇してほしい」と言えるかどうか。
- 熊本市の保育園の空き状況がオンタイムで逐一覧で見れるサイトとかがあると、保育園に入園を考えているときに候補を絞り込みやすい。
- 保育料が高すぎる。時短勤務のため、給与もカットされているが、2人分の保育料で給与が大幅に費やされるので、何のために働いているか分からない。未満児が育休の間、保育園に入れられないのもおかしいと思う。
- 夫婦ふたりで協力する。
- あまり無理をしない。
- 5年後、10年後をいつも思い描く。
- 仕事場でも保育園等を設置してほしい。
- 保育園の協力や理解。
- 働く時間が多ほど両立しにくくなるので、働けば働くほど両立しやすくなればいい。
- 給料アップ。
- 短時間勤務制度の利用が広がり、利用しやすい環境になるともっと子育てと仕事の両立がしやすくなると思います。
- 子供が学校帰りに立ち寄ることができるサロンがある。そこにはママ代わりに世話好きなおばさんがいる。(といいと思う)
- 男性の家事参加。20・30代の男性は残業が多すぎる。残業がない日を作ってほしい

＜うまくいっていない方の案＞

- 週一なり月一に必ず家族がそろうような家族の時間(ファミリータイム)を必ず作る。
- 子供を持つことが良いことだと思える社会になればいい。前向きに子供を作れない社会だから。働いているせいで子供に十分な教育を受けさせられないし、関われないのが嫌。
- 職場に子供同伴許可。
- 以前、テレビで社員全員9時～15時の勤務時間の民間企業があるというのを見た。子育て中のママが中心に働いているらしい、会社でなくても職場の部署として設置されれば働くママも周りの人に気兼ねなく仕事もでき、子供との時間も増えるかと思う。

＜どちらともいえない方の案＞

- 信頼のおけるお手伝いさんと同じく信頼のおける教育係(勉強やマナーなど)のシッターさんが常時いてくれる(といい)。出張などの時は子供も連れて行き、シッターさんは同行して、子供と一緒にいてくれる。留守中の自宅はお手伝いさんが管理してしてくれる。
- 労働環境を安定させていくと子育ても充実してくると思う。
- 周りの協力や理解がなければ何も成り立たないと思います。

- 子どもの学費、自分たちの将来など金銭的負担・不安がとても大きく、その為皆仕事をしている。短時間勤務にすると収入が少ない。長時間になると両立は無理です。『両立』を『母』に求めるならば賃金アップです。
- なかなか1回会ったきりの方に病気時いきなりは預けづらい。特に小さい子はためらいがある。夢のアイデアは職場に病児保育がある、近場に病児保育がある(かかりつけなど。書類等なくても事前登録のみで預けられる、など)。緊サポが上限3,000円くらいだと助かる。
- 自宅でも仕事ができるようなシステムがあればと思う。
- 個人的には、イクメンよりカジダンのほうがありがたい。特に料理するパパは大事だと思います。そしたら片付けや買い物のこともわかってくれるので！
- 夕方～夜間、休日、病児等預かりが保育施設や学校だけでは限界がある。一般的にはこのような時頼れるのが実家。実家のように安心して頼れる組織(ネットワーク)が住んでいる地域の中にあれば…。
- 今、大学の勉強をしています。そこで取得する資格を生かした仕事をし、お給料をあげて生活しやすくする予定です。
- NPOと行政の協働事業があれば。
- 夢のプラン。自宅でcaféのお店をしながら帰宅する子供を出迎えられるようにお店を開きたい！
- 子どもたちはみな平等。預かるところが幼・保の時点でちがう気がします。教育の差が出ないことが理想です。幼・保、両方無料化は理想的！あと、職場の理解や協力。これは人として持ってほしい。今の日本の制度は正職にはいいがパートや母子には厳しい。子どもは1人ではお留守番はムリ。
- フレキシブルな時間、場所で働くことがもう少し制度として一般化すること。
- 家庭内の男女協働参画。できる人ができることを負担なくする。
- もっと保育料が安くなればいいと思う。短時間だと収入も減るので保育料が負担になる。
- そもそも、両立が無理な仕事もあることを社会全体が認識することがもう少し必要じゃないかと思います。両立できる人もいれば、両立できない人もいて、社会の仕事が成り立っていることを家族も、社会も、本人も認識したほうがいいと思います。両立、というと、仕事も子育ても、うまくやっている、という感じがして、それができる働き方は希少だと思います。両立をしましょう、ということより、両立は難しくても、子育てしながら仕事に、夢への実現にチャレンジする、お母さんを賞賛したいです。そういった社会的包摂を育みたいですね。
- 賃金UP。
- 子供たちとゆっくりふれ合える時間の工夫！？職場でも子育てしながら働いている現実を受け止め、子どもが病気の時なども「別に子供が病気の時は休んで良いですよ」とサポートがあると働きやすいと思います。
- 全ての人が5時に仕事が終わる！
- 雨の日に子ども達が遊べる場所、子ども達が歩いていける場所で、少し騒いでもいい図書館のイメージ。仕事をしていても、雨の日は子どもがどこで遊んでいるのか心配です。
- アイデアやプランはないけれど、子育てと仕事の両立が難しいと思っている女性はたくさんいるはず。それはこの社会の環境が整っていないことも原因だと思う。だから少子化にもなるんだし。国や政治家の方々ももっと頑張ってよ!!って思う。この国の将来を担っている子供たちを育てて、頑張って働いて、税金も払ってるんだから…。仕事がしやすい環境を作ってよ…と。
- 「認可外保育所への助成」認可園に預ける就労基準が厳しいと思われ。シングルの方も増えてはいますが、多くの普通の母親が子育てと仕事を両立させ幸せを実感できるような受け皿にはなっていないと思います。初婚年齢、出産年齢とも上がってきており、例えば30代に続けて2～3人産み育て、仕事を続けようとすると、週2～3日の3時間程度です。子どもが小学生になってからは再就職ではブランクもあり、ハードルも高く、また家族(夫)に何かあったときは大黒柱になる必要もあるわけで、女性が生涯仕事を続け、子育てを周囲と協力し合ってやっていけるよう、公的支援は大変重要なことだと考えています。
- 女性企業家が増える。ブライダル業界とのコラボ。若い人のチャレンジが増える。家族デザイン講座。婚活から始めるワークカフェ。九大のさとう先生婚活と自立セミナー。

総回答数

130 名

Q1

| | | | |
|------------|-----------|-----------|--|
| うまく両立できている | うまくいっていない | どちらともいえない | |
| 62 | 11 | 57 | |

Q3

| | | | |
|----------|----------|-------|-----|
| 家族の協力・理解 | 職場の理解・支援 | 行政の支援 | その他 |
| 34 | 37 | 26 | 13 |

Q5

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 |
| | | | |

| | | | |
|-----|-----------|-------|--|
| 正社員 | パート・アルバイト | 契約・嘱託 | |
| | | | |

| | | | |
|----|----|----|------|
| 1人 | 2人 | 3人 | 4人以上 |
| | | | |

| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 未就学児 | 小学低学年 | 小学中学年 | 小学高学年 |
| | | | |

| |
|-----|
| 無回答 |
| 5 |

| |
|-----|
| 60代 |
| |

| |
|--|
| |
| |

| |
|--|
| |
| |

| | |
|-------|--|
| 中学生以上 | |
| | |

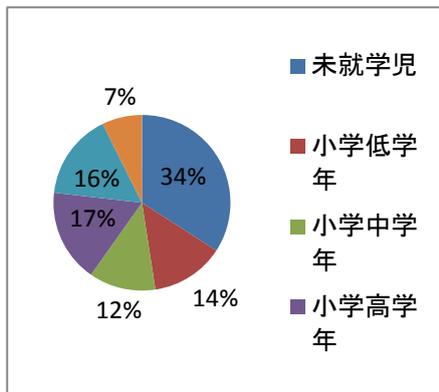
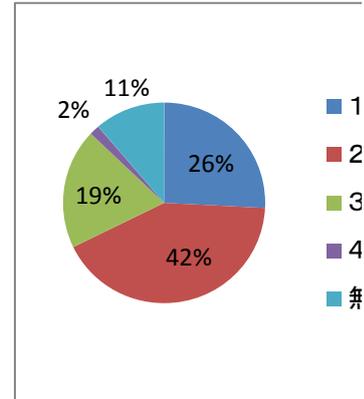
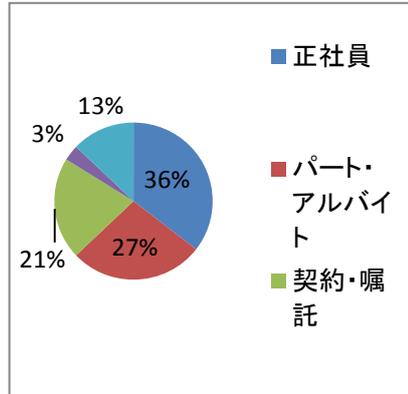
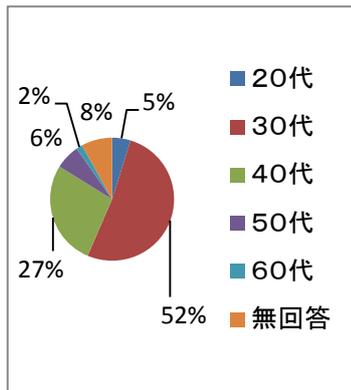
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 3 | 32 | 17 | 4 | 1 | 5 | 62 |

| 正社員 | パート・アルバイト | 契約・嘱託 | 自営 | 無回答 | 計 |
|-----|-----------|-------|----|-----|----|
| 22 | 17 | 13 | 2 | 8 | 62 |

| 1人 | 2人 | 3人 | 4人以上 | 無回答 | 計 |
|----|----|----|------|-----|----|
| 16 | 26 | 12 | 1 | 7 | 62 |

| 未就学児 | 小学低学年 | 小学中学年 | 小学高学年 | 中学生以上 | 無回答 | 計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 28 | 11 | 10 | 14 | 13 | 6 | 82 |

事務、保育士、公務員、会社員、プライダル業、NPO法人代表、病院(治験補助)、看護師、営業



1人
2人
3人
4人以上
無回答

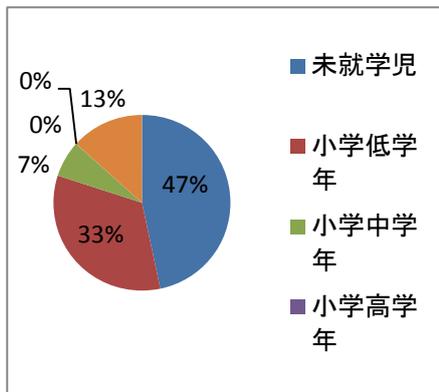
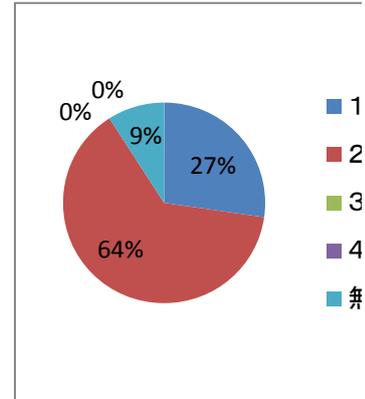
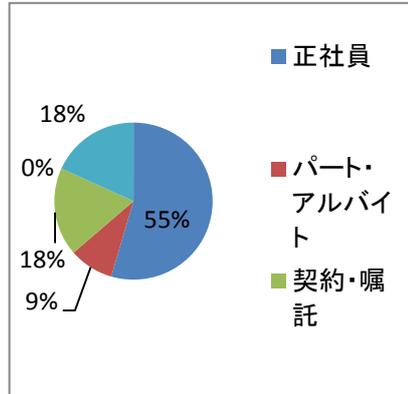
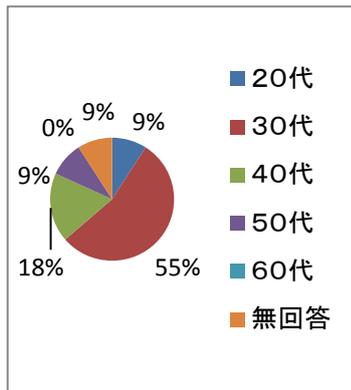
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 1 | 6 | 2 | 1 | 0 | 1 | 11 |

| 正社員 | パート・アルバイト | 契約・嘱託 | 自営 | 無回答 | 計 |
|-----|-----------|-------|----|-----|----|
| 6 | 1 | 2 | 0 | 2 | 11 |

| 1人 | 2人 | 3人 | 4人以上 | 無回答 | 計 |
|----|----|----|------|-----|----|
| 3 | 7 | 0 | 0 | 1 | 11 |

| 未就学児 | 小学低学年 | 小学中学年 | 小学高学年 | 中学生以上 | 無回答 | 計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 7 | 5 | 1 | 0 | 0 | 2 | 15 |

会社員（メーカー）、保育士、事務、公務員



1人
2人
3人
4人以上
無回答

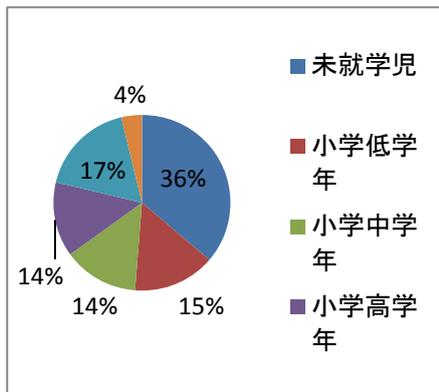
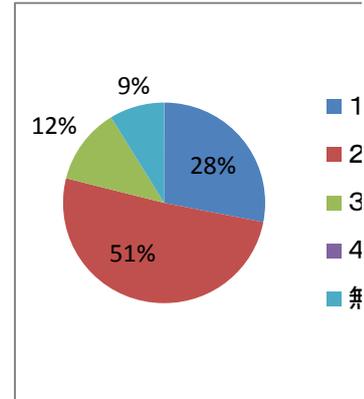
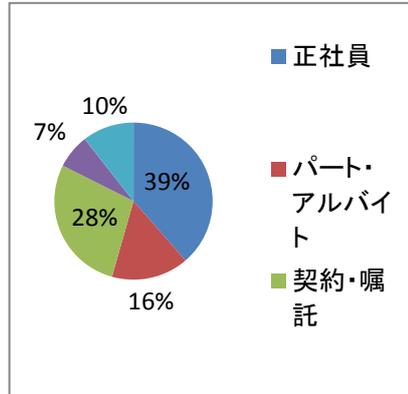
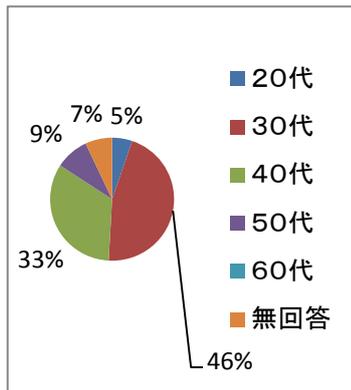
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 無回答 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 3 | 26 | 19 | 5 | | 4 | 57 |

| 正社員 | パート・アルバイト | 契約・嘱託 | 自営 | 無回答 | 計 |
|-----|-----------|-------|----|-----|----|
| 22 | 9 | 16 | 4 | 6 | 57 |

| 1人 | 2人 | 3人 | 4人以上 | 無回答 | 計 |
|----|----|----|------|-----|----|
| 16 | 29 | 7 | | 5 | 57 |

| 未就学児 | 小学低学年 | 小学中学年 | 小学高学年 | 中学生以上 | 無回答 | 計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 29 | 12 | 11 | 11 | 14 | 3 | 80 |

入浴ヘルパー、保育士、会社員、公務員、事務員、自宅でピアノ講師、交通安全教育専門店、嘱託職員、団体職員、会



社役員、スポーツインストラクター

1人
2人
3人
4人以上
無回答